

第Ⅳ期

子どもと希望Ⅱ

# Reimagination

2024

10.28日 - 2025 4.21日

開館日・時間：月曜日-土曜日 10時-17時

会場：聖心女子大学4号館

聖心グローバルプラザ1階 BE\*hive



「名前知らない私と誰かが聞いている」(2023年) 荒井良二 ©Ryoji Arai

子どもと不条理 それでも世界は生きるに値する  
Children and the Absurd: Still, the World is Worth Living in "Children and Hope II : Reimagination" in Phase IV

入場無料

〒150-8938 東京都渋谷区広尾4-2-24 聖心女子大学4号館/聖心グローバルプラザ  
PHONE: 03-3407-5811 E-MAIL: jimukyosei@u-sacred-heart.ac.jp  
HP: <https://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/>

日本語 English WEB展示公開予定  
For complete access in English,  
please visit the SHISF's online  
exhibitions portal.



グローバル共生研究所



WEB展示

聖心女子大学  
グローバル共生研究所  
Sacred Heart Institute for Sustainable Futures (SHISF)

聖心グローバルプラザ  
BE\*hive  
展示+ワークショップスペース

# 「子どもと希望2 ~Reimagination~」

「子どもと希望」をテーマとする2回目の本展では、子どもの希望につながるものとして、「大切なものの再発見」「多文化共生」「不思議の再発見」に焦点をあてた展示を行います。自分の好奇心に従って取り組むことは、そこに無理がなく、結果、その分野がより得意になり、また人々を喜ばせることにつながります。そしてその循環が希望となると考えます。

## 「タカラモノ」フォトグラファー 回里純子

日本、中国、フィリピンなど10ヵ国を訪ね、そこで暮らす子どもたちをとらえたポートレートシリーズ。3期に続いて4期でも構成を変えて展示します。ときにはタカラモノという概念が通じないこともある、さまざまな環境で生きる子どもたちの「大切なもの」とは？

## 「わたしたちの一番星よ

～日本に生きるミャンマー人母たちの祈りとメッセージ～ 詩・和合亮一 絵・荒井良二

故郷の破壊と再生を謳い続ける福島詩人・和合亮一が、泥沼化する祖国の内戦を逃れ、日本での出産と子育てに奮闘する在日ミャンマー人母たちのナラティブストーリーを詩集にするプロジェクト。日本に渡ったミャンマー人は現在約10万人。新しき人々と詩人の言葉で、「異次元の少子化」に沈みゆくこの国の未来を照射します。(企画協力:NPO法人Mother's Tree Japan+東京芸術大学宮本武典研究室/助成:公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京「芸術文化による社会支援助成」※助成対象事業<アートによる多文化共生リサーチ「母たちの森をゆく-マザーズツリー-プロジェクト」>の一部として実施)

## 「ライオンごうのたび」文・森岡督行 絵・山口洋佑

宇宙から地中、海、空を自由自在に移動できる「ライオン号」。この絵本が伝えたいのは「世の中の不思議を、不思議と思うところから出発しよう」ということ。なぜ、地球は丸いのか。なぜ、化石ができるのか。子どもが感じる素朴な「なぜ?」と、その答えを導く学問の理想的なありかたとは。

制作/株式会社森岡書店

### 和合亮一 詩の朗読とお話し会

#### 「わたしたちの一番星よ」

詩人・和合亮一さん

現代日本に生きる18人のミャンマー人女性へのインタビュー取材をもとにした詩集『てのなかの海と星』を、作者の和合亮一さんが朗読する会。参加者にはこの詩集を1冊差し上げます。



わごうりょういち / 詩人。中原中也賞、晩翠賞、萩原朔太郎賞など受賞多数。2011年、東日本大震災直後の福島からTwitterで連作詩『詩の磯(つぶて)』を発表し国内外から注目を集めた。その後、様々な詩集が各国で翻訳され、フランスから詩集賞を受賞。

日時:2024年12月14日(土)14:00-16:00

会場:聖心グローバルプラザ

ブリット記念ホール

詳細・お申し込みはこちら



ARTS COUNCIL TOKYO

### BE\*hive同時公開中

#### 創立75周年記念常設展

#### 「これまでの歩み、これからの道」

聖心女子大学の社会奉仕活動は、75年の歩みのなかでどのように育まれ歩んできたのか。初代学長マザーブリット時代に築かれた本学の社会奉仕活動と、現代社会の課題に目を向け行動する学生の姿を展示しています。



### 特別展示 2024年10月28日(月)-1月31日(金)

#### 「萃点のことば展

-理の集まる「あいだ」の場所を求めて-

一般社団法人 Ecological Memes

どうしたら自分や他者、世界とのつながりを取り戻せるのだろうか。地球環境を壊すのではなく、創造的な再生者として一歩踏み出していけるのだろうか。生命の営みや生態系に根ざして生きるための実践知をまとめた萃点のことばたちの特別展。

### 特別展示 2025年2月10日(月)-4月21日(月)

#### 「知る勇氣 伝える努力

-平和を考える人びと-

ノンフィクション作家・野村路子さん

テレジン収容所の子どもたちが残した絵の存在を日本に伝え、ホロコストの生存者へのインタビューを今も続ける野村路子さん。ガザで続く人道危機に対し、復讐の連鎖を断ち切り平和を実現する道をもとに考えます。

### 公開中 2025年12月20日(土)まで

#### 「峯岸一水氏を偲んで」

本学の卒業生でもある清虚洞一絃琴宗家四代・峯岸一水氏がご病気のため、2023年5月にご逝去されました。本学における行事や授業の折に数々ご貢献いただきましたことを心から感謝し、一水氏をお偲びするための小展示をご用意いたしました。

### 第I期:子どもと戦争

2023年5月15日(月)-10月23日(月) ※終了

### 第II期:子どもと放射線~「ヒロシマ」をテーマに~

2023年10月30日(月)-2024年5月20日(月) ※終了

### 第III期:子どもと希望1~Reimagination~

2024年5月27日(月)-10月21日(月)

### 第IV期:子どもと希望2~Reimagination~

2024年10月28日(月)-2025年4月21日(月)

## ワークショップのご案内

BE\*hiveの展示による学びをより深めるために、様々なワークショップをご用意しています。総合学習やその他グループ学習などの一環として、ぜひご活用ください。オンラインでも開催可能です。

#### ◆テーマ例:

##### 1. 子どもと放射線

核兵器の存在する世界は現世代だけでなく未来世代の子どもの生存権すらおよびやします。このワークショップでは、核兵器が存在する現状と「核なき世界」に向けた動きを知り、一人ひとりの想像力をもって、子どもの不条理のない社会(=核廃絶)の実現を構想することの大切さを学びます。

##### 2. 子どもと戦争

人類史は争いの絶えない歴史だったと言えます。子どもたちは戦争をどのように体験したのでしょうか。このワークショップでは、アウシュビッツへの中継地となったチェコスロバキア(当時のテレジン収容所に暮らした子どもたちの描いた絵をはじめ、戦争が何であるのかを今に伝える様々な資料を題材に、「戦争と平和」と子どもの権利について考えます。

##### 3. ジェンダー

当たり前だと思われていた「女性をめぐる常識」が大きく変化しつつある現代社会。私たちの日常生活や社会をジェンダーの視点で見ることを通じて、自らが行きたい社会を問い直してみましよう。

##### 4. 気候変動

気候変動の現状と原因を知り、自分たちの生活とのつながりを学び、さらに興味・関心を深めていきます。

##### 5. 日本にいる難民

世界と日本の難民問題や日本に住む難民のエピソードを通して、難民問題について考えます。

#### ◆対象・人数

原則として高校生以上、人数は20名前後(応相談)  
費用は無料/要事前予約(実施1か月前締切)

#### ◆所要時間

ご希望に応じておよそ90分~120分程度で承ります

#### ◆質問・申込先

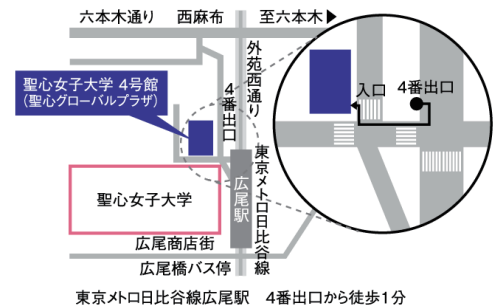
TEL:03-3407-5811(代表)

E-mail:be-hive@g.u.sacred-heart.ac.jp

ワークショップの企画・開発は、認定NPO法人開発教育協会(DEAR)  
<https://www.dear.or.jp/>と共同で行っています。



開発教育協会



〒150-8938 東京都渋谷区広尾4-2-24

聖心女子大学4号館/聖心グローバルプラザ

PHONE:03-3407-5811

E-MAIL:jimu-kyosei@u-sacred-heart.ac.jp

HP: <https://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/>

FACEBOOK

INSTAGRAM

